 水道ホットニュース	<p>(財)水道技術研究センター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-8-1 虎ノ門電気ビル 2 F TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215 E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp URL http://www.jwrc-net.or.jp</p>
---	--

米国 2007 年度水道統計について (その 1)

(はじめに)

米国では、原則として毎年度、環境保護庁 (E P A) から「水道統計 (正式には、FACTOIDS : Drinking Water and Ground Water Statistics)」が出されています。

そこで、水道ホットニュース第 6 6 号 (平成 1 9 年 7 月 1 3 日付け、米国 2 0 0 5 年度水道統計と日米比較について) では、インターネットで資料が入手可能な 1 9 9 8 年度から 2 0 0 5 年度までのデータを用いて、米国の水道事業体数、給水人口などについて紹介するとともに、水道事業の区分や会計年度の相違などから厳密な比較は困難ですが、参考として、日米比較についても試みたところで

す。その後、2 0 0 8 年 3 月、E P A から 2 0 0 6 年度及び 2 0 0 7 年度の統計データが公表されたことから、これらのデータを用いてデータの更新を行うこととしました。

なお、以下に紹介する米国水道統計に関する内容については、正式には E P A ホームページを参照していただくようお願いします。また、以下の内容に誤り等がありましたら、ご教示いただくようお願いいたします。

(出典)

http://www.epa.gov/ogwdw/data/pdfs/data_factoids_2007.pdf

http://www.epa.gov/ogwdw/data/pdfs/data_factoids_2006.pdf

(注) 米国の会計年度は「10 月から翌年 9 月まで」ですので、ご注意ください。

1. 米国における水道の分類

米国水道統計における水道の分類は、次のとおりである。

①市町村水道システム (Community Water System)

公共用の水道システム (Public Water System) で、年間を通じて、少なくとも 25 人以上の同じ人々又は 15 以上の同じ給水栓に対して水道水を供給するシステムをいう。

②専用水道システム (Non-Transient Non-community Water System)

公共用の水道システムで、25 人以上の同じ人々に対して、1 年間のうち 6 ヶ月以上水道水を供給するシステムをいう。例としては、自己の水道システムを持つ、学校、工場、オフィスビル、病院が挙げられる。

③一時利用水道システム (Transient Non-Community Water System)

公共用の水道システムであるが、ガソリンスタンドやキャンプ場などのように、一時的に利用する人々に対して水道水を供給するシステムをいう。

2. 米国 2007 年度水道統計の概要

2007 年度において、米国には 156,000 の公的な水道システム（public drinking water systems）が存在する。これらの各々のシステムは、25 人以上の人々又は 15 以上の給水栓に対して、水道水を供給している。

表 1 に示すように、米国のほとんどの人々（286 百万人）は、市町村水道システムから水を得ている。そして、約 52,000 の市町村水道が存在するが、82%の人々は、8%（4,100 システム）の「規模の大きい水道システム（給水人口 10,001 人以上）」から水道水の供給を受けている。

表 2 は水道水源の内訳であり、多くの水道システムが地下水に依存しているものの、多くの人々は表流水を水源とする水道システムから供給を受けていることがわかる。

表1 水道システム別・給水人口別にみた水道システム数・給水人口(米国 2007 年度水道統計)

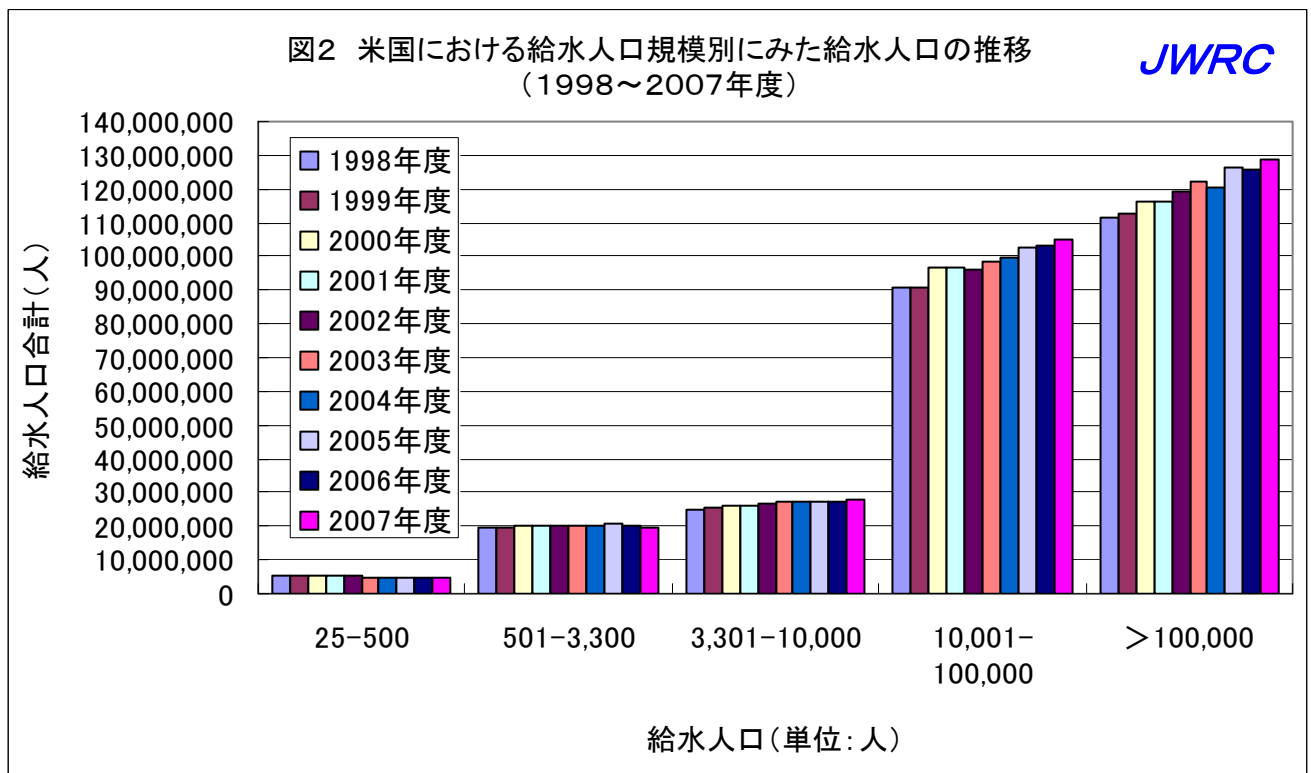
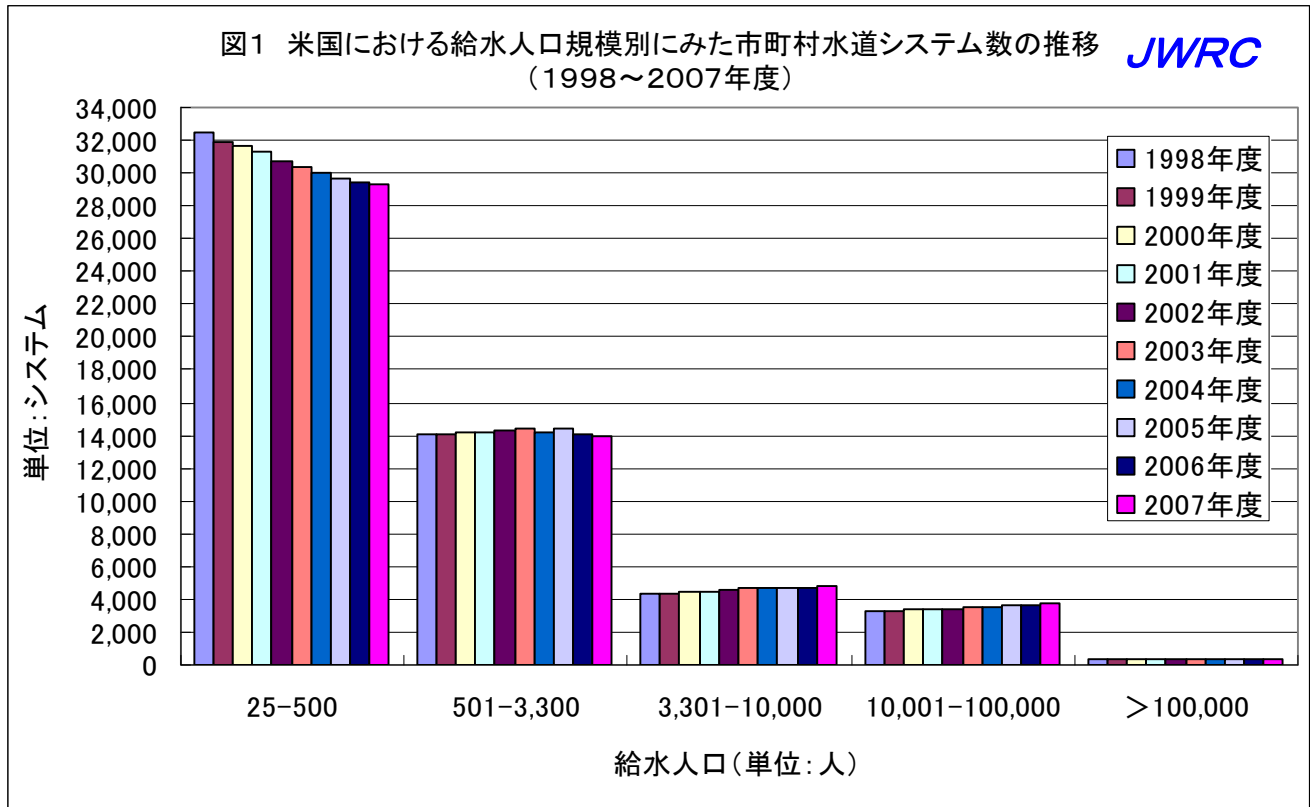
		500 人以下	501～ 3,300 人	3,301～ 10,000 人	10,001～ 100,000 人	100,000 人 以上	合計
市町村水道 システム	システム数	29,282	13,906	4,822	3,702	398	52,110
	給水人口	4,857,007	19,848,329	27,942,486	105,195,727	128,607,655	286,451,204
	システム比率	56%	27%	9%	7%	1%	100%
	給水人口比率	2%	7%	10%	37%	45%	100%
専用水道 システム	システム数	16,034	2,662	120	22	1	18,839
	給水人口	2,247,556	2,710,330	639,561	533,845	203,000	6,334,292
	システム比率	85%	14%	1%	0%	0%	100%
	給水人口比率	35%	43%	10%	8%	3%	100%
一時利用 水道システム	システム数	81,873	2,751	102	15	3	84,744
	給水人口	7,230,344	2,681,373	546,481	424,662	2,869,000	13,751,860
	システム比率	97%	3%	0%	0%	0%	100%
	給水人口比率	53%	19%	4%	3%	21%	100%
システム合計	システム数	127,189	19,319	5,044	3,739	402	155,693

表2 水道システム別・給水人口別にみた水道水源の内訳(米国 2007 年度水道統計)

		地下水	表流水	合計
市町村水道システム	システム数	40,646	11,449	52,095
	給水人口	90,549,995	195,887,109	286,437,104
	システム比率	78%	22%	100%
	給水人口比率	32%	68%	100%
専用水道システム	システム数	18,151	679	18,830
	給水人口	5,503,282	787,555	6,290,837
	システム比率	96%	4%	100%
	給水人口比率	87%	13%	100%
一時利用水道システム	システム数	82,851	1,878	84,729
	給水人口	11,077,369	2,668,985	13,746,354
	システム比率	98%	2%	100%
	給水人口比率	81%	19%	100%
システム合計	システム数	141,648	14,006	

3. 米国における水道システム数及び給水人口の推移

米国における水道事業体数及び給水人口の推移（1998～2007年度）は図1・図2のとおりであり、規模の小さい水道システムの数・給水人口が減少し、規模の大きい水道システムの数・給水人口が増加傾向を示している。

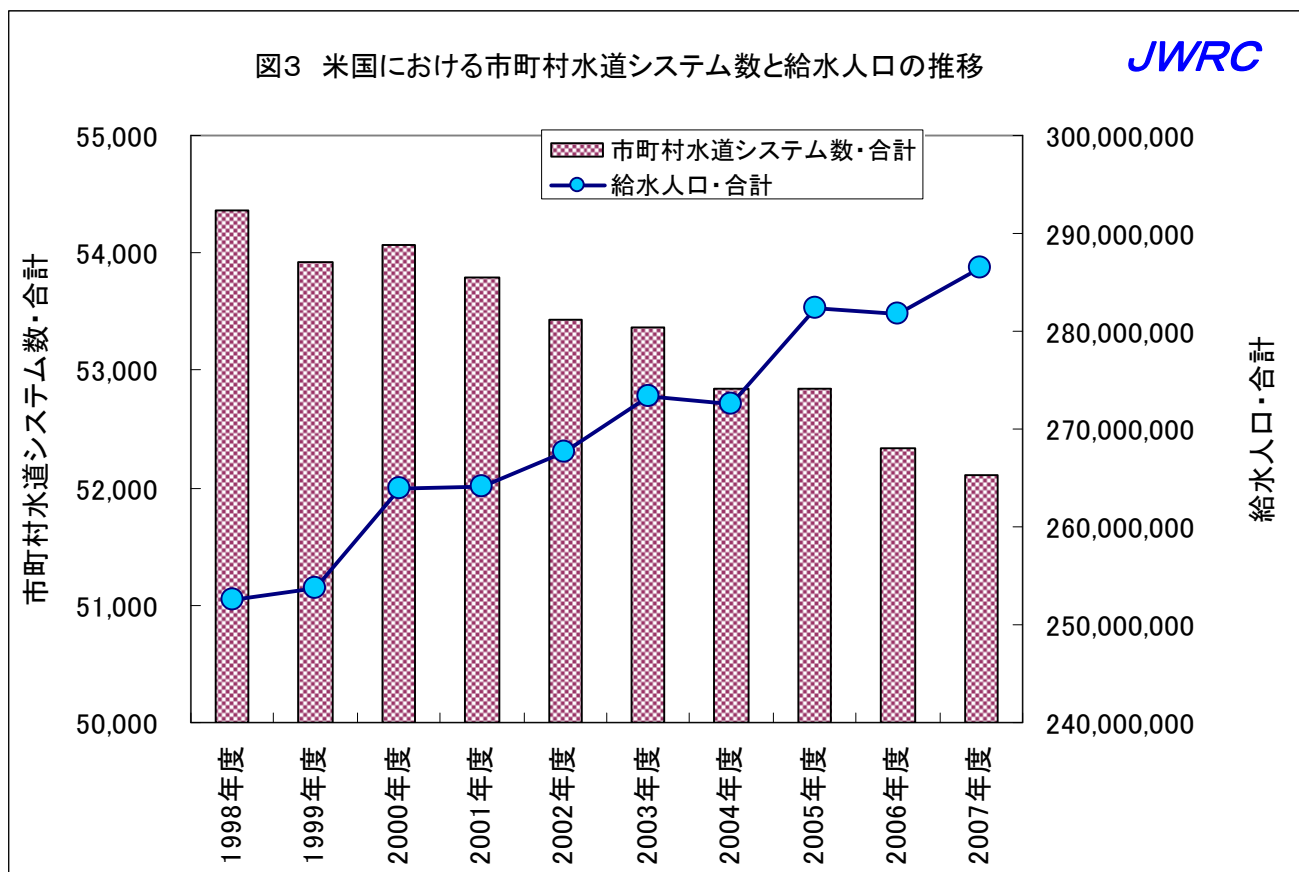


4. 市町村水道システム数と給水人口の推移

図3は、米国における過去10年間（1998～2007年度まで）の市町村水道システム数と給水人口の推移をグラフで示したものである。

グラフからわかるように、米国では、全体として給水人口は増加傾向が続いているが、市町村水道システムの合計は減少傾向にある。

一方、日本のみならず、米国においても、第二次世界大戦後、戦後の人口増加や経済成長に伴い建設された水道施設の老朽化が問題となりつつあり、計画的な施設更新とその財源の確保が大きな課題となっている。



(文責) センター常務理事兼技監 安藤 茂

FAXでお届けしている皆様方へのお願い

「JWRC水道ホットニュース」は、現在EメールまたはFAXでお送りしておりますが、よりタイムリーに情報をご提供するため、将来的に配信方法をEメールに一元化したいと考えております。

本号をFAXでお届けした皆様方のうち、次号以降の配信方法をEメールに変更しても宜しい場合には、

- (1) 現在の 配信先FAX番号
- (2) 次回以降の 配信先Eメールアドレス
- (3) (2)の配信先組織(部署)名、ご担当者名、連絡先電話番号

を、当センター ホットニュース配信担当 宛 (jwrchot@jwrc-net.or.jp) にEメールでご連絡いただければ幸いです。

また、ご連絡いただいた個人情報、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。